

# 温かい心の村民と 豊かな自然に包まれて

## 岩室村は25歳になりました

### 岩室村民憲章

緑豊かな弥彦・多宝の山脈、果てしない沃野、雄大な日本海、緑と太陽と水の里、常に伸び続ける明るい村・岩室!!

私たちは、岩室村民であることに誇りを持ち、手をたずさえてみんなの幸せと村の発展のため、次のことを日常生活の信条として、堅実に歩み続けましょう。

- 一、郷土を愛し、自然と文化財を大切にしよう。
- 一、心身を鍛え、健康な生活をしよう。
- 一、勉強や仕事に励み、ゆめを実現しよう。
- 一、物を大切にし、生かして使おう。
- 一、進んできまりを守り、良識ある生活をしよう。

〔昭和五十三年一月一日制定〕



笑顔そしてふれあい

岩室村が誕生してから、今年で二十五年を迎えました。旧岩室村（間瀬村とは昭和三十年三月三十日合併済み）、旧和納村（このうち下和納と安尻は巻町に、本町は吉田町へ編入）が合併し、「新岩室村」として誕生したのが、昭和三十五年一月二十日。それから二十五年、この間、村民の連帯感の確立や三村合併の障害の解消を図りながら、新庁舎の建設、村道整備、上水道、保育園建設など、生活基盤整備を行う一方、公民館、村民体育館、村民野球場、テニスコート、丸小山公園といった心のやすらぎと人と人がふれあえる施設が整備され、明るく機能的な村づくりを進めてきました。これらは、村民のみなさんの情熱と英知が結集したあらわれといえるでしょう。二十五年は「四分の一世紀」といいますが、今岩室村の歩みをふりかえることのできる一つの節目を迎えました。そこで、村民のみなさんにそれぞれの二十五年をふり返っていただきながら、岩室村二十五年の歩みを、主な出来事とともにご紹介します。

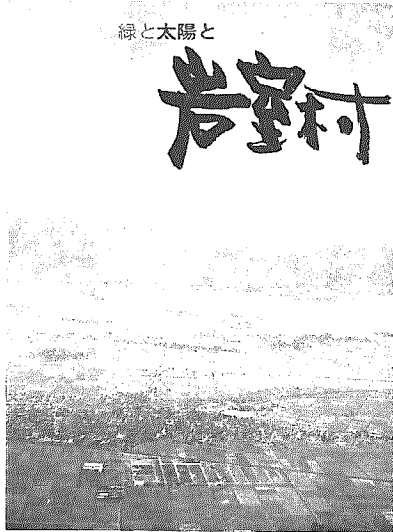
# 岩室村25年の歩み

## 感激も新たに新岩室村誕生

- 昭和35年（一九六〇年）
  - 1月●新岩室村が発足（人口一万一千六百八十四人、面積38・67平方キロ）
  - 2月●初代村長に佐藤賢之輔氏就任
  - 3月●境界変更：下和納・安尻は巻町へ、本町は吉田町へ分村決定（住民投票）
  - 10月●国勢調査：人口一万二千五百一十一人
  - 昭和36年（一九六一年）
    - 4月●大字岩室地内の県道が舗装される（本村初の舗装化）
  - 昭和37年（一九六二年）
    - 5月●「広報いわむろ」発刊（5月17日発行）
  - 昭和38年（一九六三年）
    - 4月●岩室小学校で完全給食始まる
  - 昭和39年（一九六四年）
    - 6月●新潟国体、新潟地震
  - 昭和40年（一九六五年）
    - 9月●国勢調査で村の人口九千五百三十七人に（前回より七百十四人減）
  - 昭和41年（一九六六年）
    - 12月●岩室村の村章決まる（公募作品）
  - 昭和42年（一九六七年）
    - 4月●間瀬中学校統合（全村一校となる）
    - 昭和42年（一九六七年）
      - 1月●田子島・尻引が合併、「栄」となる
      - 7月●役場庁舎が旧和納中学校舎に移転



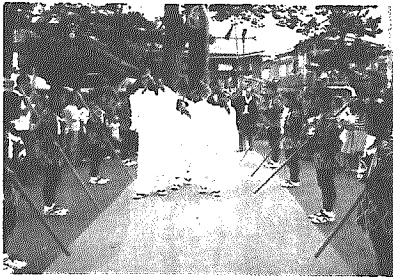
●村章



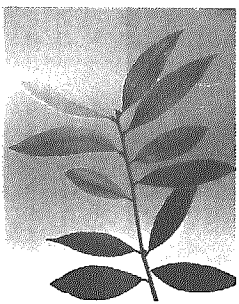
緑と太陽と

# 岩室村

▲昭和35年1月20日 新・岩室村誕生



▲棒遣いなど3点を初の本村の文化財に指定



●村の木「月桂樹」

## わたしも25歳になりました



中沢 直子さん（和納8区・25歳）

新しい岩室村が誕生した年に、村内で百二十人の赤ちゃんがうぶ声をあげました。中沢直子さんもその一人。新潟市の会社に勤めるテニスとドライブが大好きという明るいお嬢さんです。「岩室村はスポーツ施設が多く、うれしい。これからも村民優先の楽しい施設づくりをお願いします」。

## もう25年ですか…



大 関 吉次さん（間瀬6区・69歳）

昭和十六年、間瀬村役場に入庁後、旧岩室村との合併、そして旧和納村との合併と、二度の村合併を目のあたりに見てきた大関さん。「岩室村も合併による財政的メリットをフルに活用して随分、発展してきたと思います」「当時をふり返ると、交通事情のよくない中、県庁まで何度も足を運んで、合併に関する手続きの指導などを受けたものです。あれからもう二十五年もたらずかねえ」と感慨深そうに。